

～登山は苦手…。でも綺麗な景色が見たい～ **日岡山公園(日岡御陵・展望台)**

登山はちょっと苦手だけど、見晴らしの良い景色をお望みなら日岡山公園へ。日岡山公園内にある大きな前方後円墳「日岡御陵」を目指しましょう。御陵の手前OAAはりまハイツ横の展望台に行けば、加古川市をぐるっと見回せ、壮大なパノラマが広がります。



景行天皇の後、稲日大郎姫(いなびのおおいらつめ)のお墓だといわれています。皇后が亡くなられた時、日岡山へ葬るため遺体を乗せて印南川(加古川)を渡っていた時、大きなつむじ風が吹いて船は転覆、遺体は見つからず、後に「ひれ」と「くしげ」だけが見つかり、これを葬ったので「ひれ墓」とも呼ばれています。眺望がすばらしく、秋になれば日岡神社への参道には萩の花が咲き誇ります。

近くにはこんな山もあります

●西条の城山

加古川左岸に位置する標高85mの山で、急な登山道を登りきれば、頂上から加古川の流れや遠く明石海峡大橋を一望することができます

●飯盛山

平荘湖北側にある標高約215mの山。適度なアップダウンもあり、岩場や林の尾根道などを経て、頂上からは淡路島を望むことができます。

※平荘湖周辺には、他にも相ノ山や洞貝山、黒岩山、行者山などがあり、「低山めぐり」を楽しむ愛好家もいるようです。



展望台(聖徳閣跡)からの見晴らしは抜群です!

当所ホームページにカラーPDFを掲載しています。木々の緑、青い空をぜひご体感下さい!



～東播磨有数の城跡～ **志方の城山**

志方町の東の端に位置し、標高は約271m、加古川市では高御位山に次ぐ高さです。室町時代初期に赤松一族が築き、約170年間続いた中道子山城跡があり、歴史好きの方にもオススメです。

新登山道は途中まではアスファルト道。その後、山頂まで階段状の道が続きます。約30分ほど歩くと、頂上からは北に七ッ池、東に権現ダム、西に高御位山、南は播磨灘まで見渡せる絶景が広がります。



なだらかな坂道が続く、比較的歩きやすい登山道。



赤松城址の石碑。最盛期には本丸、二の丸、三の丸に分かれ、広大な城塞だと言われていましたが、戦国時代、当時の城主が、敵の侵入を防ぐ目的で山腹に竹の皮を敷き詰めましたが、そこに火を放たれ、兵糧米を撒いて鎮火に努めたものの、落城に至ったという伝説が残っています。



巨石信仰の一つ、毘沙門岩には毘沙門天が祀られています。



加古川観光協会HPより引用



城山の近くにある「安楽寺」十王堂には、地獄と極楽を対比して壁面に描かれた地獄極楽絵図と極彩色に彩られた十王像が納められています。帰りに是非立ち寄ってみて